

アフリカ閣僚級会談宣言

サハラ領有の議論に関する国連政治プロセスへのアフリカ連合の支持

我々、アフリカ連合加盟国のアフリカ国家：

アンゴラ共和国、ベナン共和国、ブルキナファソ、ブルンジ共和国、カーボベルデ共和国、カメルーン共和国、中央アフリカ共和国、チャド共和国、コモロ連合、コンゴ民主共和国、コンゴ共和国、コートジボワール共和国、ジブチ共和国、エスワティニ王国、エチオピア連邦民主共和国、ガボン共和国、ガンビア共和国、ガーナ共和国、ギニア共和国、ギニアビサウ共和国、リベリア共和国、リビア、マダガスカル共和国、マラウイ共和国、モロッコ王国、ニジェール共和国、ナイジェリア連邦共和国、ルワンダ共和国、サントメ・プリンシペ民主共和国、セネガル共和国、スーダン共和国、タンザニア連合共和国、チュニジア共和国、ザンビア共和国は、

2019年3月25日にマラケシュにおいて、サハラ領有の議論に関する国連政治プロセスへのアフリカ連合を支持することについてアフリカ閣僚級会談を開催し、

我々が望むアフリカとなるために、団結を固め、努力を結集し収束させることが不可欠であることを認識し、

国家元首と政府が、我々の大陸の統一を脅かす分裂、分割、断片化の原因を克服すべく、戦略的選択をすることにコミットし、

議題 2063 に沿って、持続可能な人間開発、アフリカの統合、市民の繁栄を含む優先的課題に取り組むために、我々の大陸が緊急に必要としていることを認識し、

以下について合意した：

1. 統一された、安定した、崎を見越した豊かなアフリカへのゆるぎないコミットメントを再確認し、声をそろえて今日のそして今後の複雑な世界における多面的な課題に対応することを可能にし、
2. 2018年7月1日、2日にヌアクショット（モーリタニア）で開催された国連総会の第31回定例会で示された国家元首と政府の、サハラ領有権問題についての件名で強調的なビジョンを実行し、

3. この点に監視、サハラ問題に関する AU コミッションの委員長の報告書に関する決議 Assembly/AU / Dec.693 (XXXI) の全会一致での採択を歓迎し、サハラ問題に関する相互に受け入れ可能で現実的、実用的かつ持続的な政治的解決策を模索するための枠組みとしての国連の独占権を再確認し、
4. その創設における役割がアフリカ連合の活動の静けさを回復することであることを考慮し、コミッションの議長と広範な協議、また国家元首と政府の健全な合意の結果である決定 693 の精神と文言を保持し、
5. 国連の努力に対して効果な支援をするため、決議 693 によって前任・現職・次代の連合の代表ならびに AU コミッションの委員長による、AU トロイカ・メカニズムの設立を歓迎し、
6. 「妥協に基づくサハラ問題に対する政治的、現実的、実用的かつ永続的な解決策」（国連安保理決議 2440 の OP.2）を達成することを目的として、安全保障理事会の監督下および事務総長の後援の下、国連の独占的枠組みの中で進行中の政治的プロセスの完全性を保護し、支持し、維持するための AU トロイカの任務の建設的かつ効果的な実施に対する我々のコミットメントを再確認し、
7. サハラ問題に関する国連の枠組みの中で行われた政治的プロセスの進展に遅れないようにするため、あらゆるレベルのあらゆるアフリカ連合組織を除外して、AU トロイカに関する決定 693 によって与えられた特定の権限を支持し、
8. 国連事務総長とその特使の努力と競合するか、連合の結束を危うくするか、加盟国間の分裂を助長する可能性がある並行プロセスがあれば、トロイカの国連政治プロセスへの支援は、いかなる妨害、介入、あるいは合意に反する行動からも保護されなければならない、
9. AU の機能、加盟国の結束、およびアフリカ連合のパートナーシップ・プロセスの平和的および平和的行動を含む、議題および優先事項の実施に対する決定 693 のプラスの影響を強調し、
10. 2017 年 1 月 30 日および 31 日にアディスアベバで開催された、第 28 回首相会議および連合の政府の総会で採択された合意および決議 Assembly/ AU / Dec.635 (XXVIII) により、アフリカを代表するのは、トロイカ、つまりアフリカ連合の前任・現職・次代の議長、AU コミッションの委員長、地域経済コミュニティの委員長、NEPAD の委員長、さらには連合の代表部局のメンバーとすることにより、アフリカ連合のパートナーシッププロセスおよび会談への参加フォーマットに関する現実的な解決策を構成することを強調し、

非公式翻訳

- 1 1. 決定第 635 号の内容を損なうことを目的としたイニシアチブは、パートナーシップ・プロセスの信頼性と、大陸の開発目的の達成への貢献を損なう可能性があるものと認識し、
- 1 2. この会議を招集するモロッコ王国の建設的なイニシアチブを温かく歓迎し、
- 1 3. サハラをめぐる領有権問題に関する国連の政治プロセスへのアフリカ連合の支援に関し、アフリカ閣僚会議に出席しているアフリカ諸国の代表団、アフリカ連合の加盟国に感謝する。

マラケシュにて採択 2019 年 3 月 25 日